

県立高等技術専門校の整備・運営について ～社会情勢と高等技術専門校～

現在の社会情勢

①若者のものづくり離れ

→国の「ものづくり白書」で若者のものづくり離れが指摘されており、さまざまな取り組みが行われている。

3. 若者のものづくり離れへの対応

- ① ポリテクカレッジを始めとする学卒者訓練
 - ・ 全国のポリテクカレッジ等では、高等学校卒業業者等に対し、ものづくり訓練等を実施している。
 - ・ 工業高校等との間で、職業訓練指導員の派遣等の連携を行っている。
- ② 若年者への技能継承
 - ・ ものづくり分野で優れた技能等を有する熟練技能者を「ものづくりマイスター」として認定し、企業等に派遣して実技指導を行わせている（「ものづくりマイスター」制度）。
 - ・ 2014年度からは、ものづくりマイスターを小中学校等にも派遣し、制作実演等を実施していく。
- ③ ものづくりの魅力を発信
 - ・ 広く社会一般に技能尊重の気運を高めるため、卓越した技能者の表彰や各種技能競技大会（技能五輪全国大会、技能五輪国際大会、全国障害者技能競技大会（アビリンピック））等を開催。
- ④ 地域若者サポートステーション
 - ・ NPO法人等が「地域若者サポートステーション」（サポステ）を設置・運営し、ニート等の若者に対して就労に向けた支援（キャリア・コンサルタント等による相談や就労体験等）を実施している。

出典：厚生労働省 2014年版ものづくり白書「概要」

②沿岸部の人口流出状況ならびに有効求人倍率の推移

H23.3.1-H27.7.1における地域の社会・人口増減を下記に示す
→推計人口では、東日本大震災前と比較し、社会減の多い地域は沿岸部に集中している。

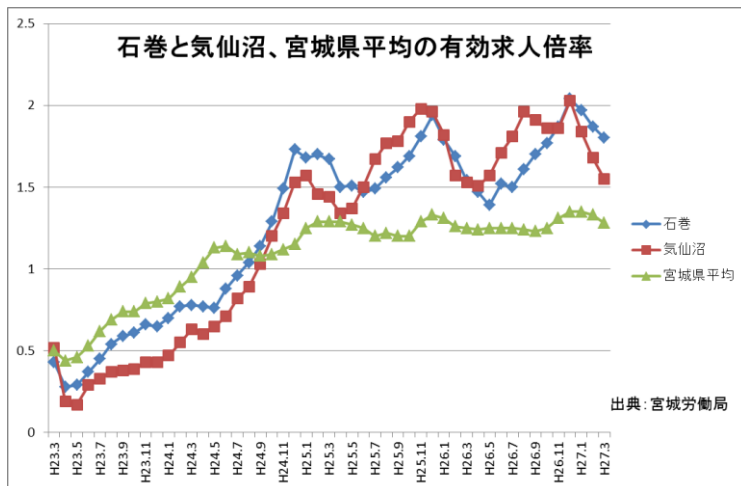
地域	社会増減	人口増減
1 石巻市	▲ 7,277	▲ 14,428
2 気仙沼市	▲ 4,097	▲ 7,646
3 山元町	▲ 2,861	▲ 4,064
4 南三陸町	▲ 2,568	▲ 3,796
5 女川町	▲ 2,157	▲ 3,266
6 東松島市	▲ 1,787	▲ 3,137

出典：宮城県統計課

→東日本大震災後、被災地では高い有効求人倍率になっている。
震災後の石巻・気仙沼の有効求人倍率の推移を下記のグラフに示す。

震災前の有効求人倍率	月平均		
	H21	H22	H23
石巻	0.44	0.44	0.53
気仙沼	0.42	0.5	0.37

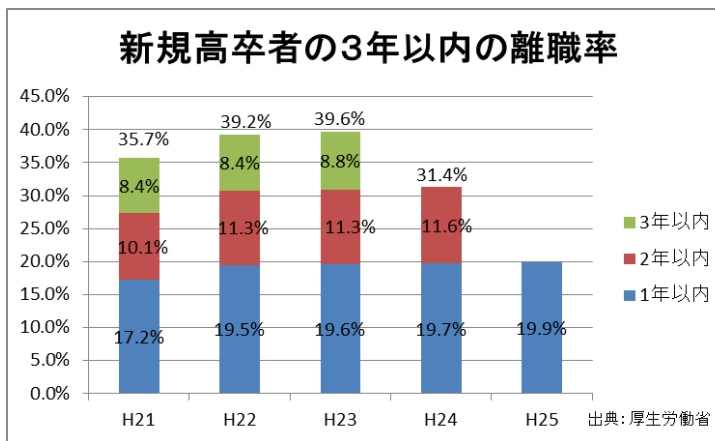
出典：宮城労働局



出典：宮城労働局

③新規高卒者の高い離職率

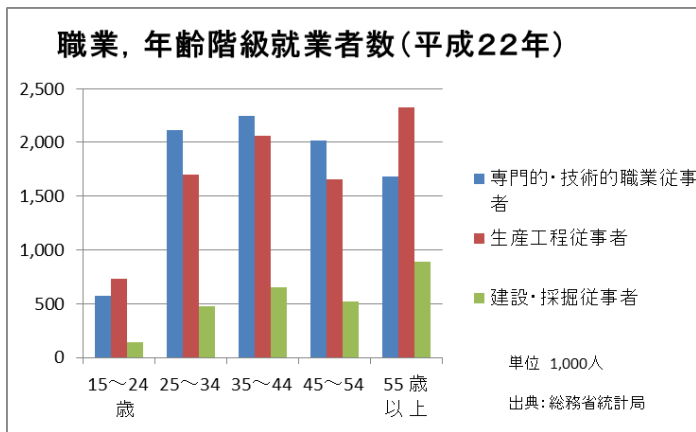
→平成26年に厚労省から発表された新規高卒者の3年以内の離職率は39.6%である。



出典：厚生労働省

④技能者の高齢化（後継者不足）

→平成22年度に行われた国勢調査によると、ものづくりに関する業種の中で、特に生産工程従事者や建設・採掘従事者の高齢化が著しい。

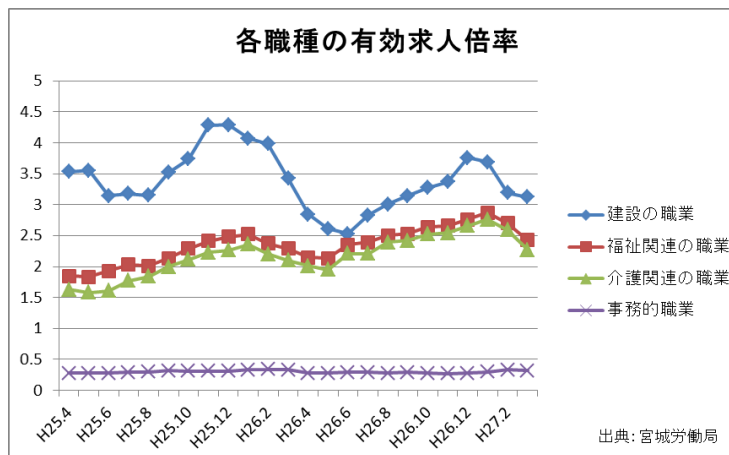


単位：1,000人

出典：総務省統計局

⑤復興需要を背景とした雇用のミスマッチ

→宮城労働局から公表されている求人・求職バランスシートによると、一部の職種において雇用のミスマッチが起きている。

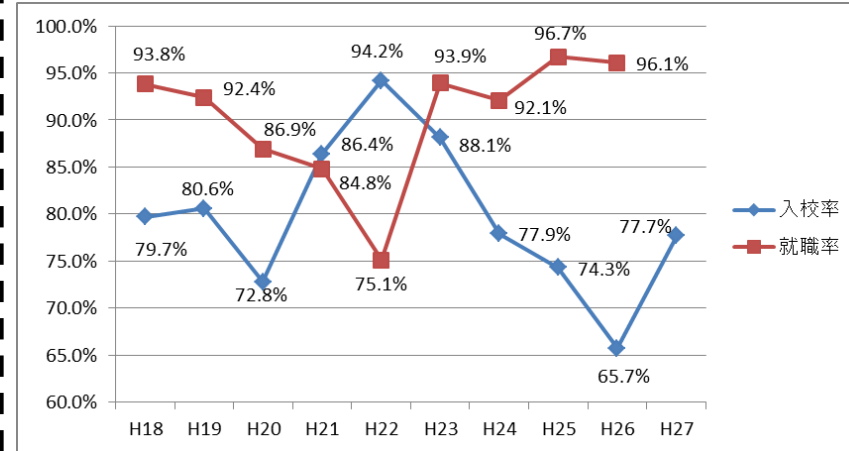


出典：宮城労働局

専門校の現状

①高等技術専門校への入校・就職率推移

→入校率の低下の一つに、ものづくり離れがあると考えられる。
今後、入校率向上の取り組みが必要である。
就職率は高等技術専門校の強みとして維持・向上が必要である。



②県内に5校の高等技術専門校を設置

→入校率が低下しているが、近隣の市町村出身者が比較的多い。
地域の若者が地元で学べる環境を整えることが重要である。

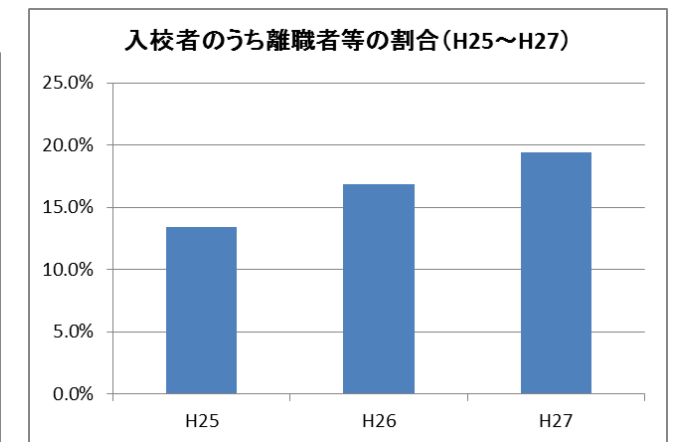
校・全体数	近隣市町村	人数	割合
白石校 (59)	岩沼市	6	42.4%
	村田町	1	
	川崎町	2	
	角田市	3	
	蔵王町	1	
	白石市	4	
	大河原町	3	
	柴田町	5	
	小計	25	
仙台校 (159)	仙台管内		84.0%
大崎校 (24)	大崎市	11	83.3%
	栗原市	4	
	加美郡	2	
	登米市	3	
	小計	20	
石巻校 (48)	石巻市	23	58.3%
	東松島市	4	
	女川町	1	
	小計	28	
気仙沼校 (30)	気仙沼市	25	93.3%
	南三陸町	3	
	小計	28	

* 平成27年度の在校生における近隣の出身地別を示す。

資料3-2

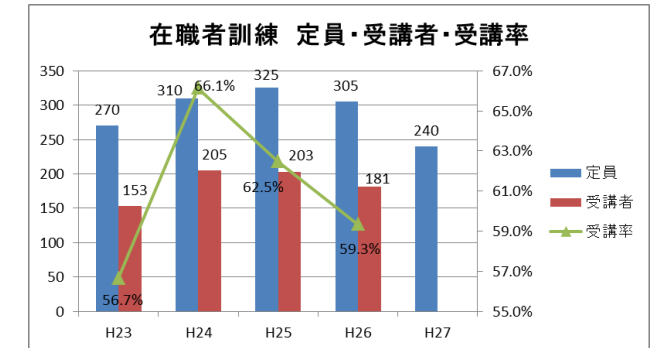
③入校者の構成割合の変化

→近年、新規高卒者以外の離職者等の入校者の割合が増えている。



④在職者訓練の受講率の推移

→近年の在職者訓練の推移を示す。
企業の社員教育支援として魅力あるコースを設定し、受講者数を増やしていく必要がある。



⑤委託訓練の入校率・就職率の推移

→雇用のミスマッチ解消のため、多様なコースを設定し、入校率・就職率を上げていく必要がある。

